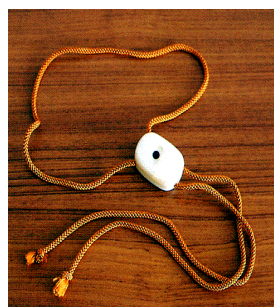


バリアフリー対応型信号機

人にやさしい道路交通をめざして
高齢者や視覚障害者が安心して
余裕をもって渡れます。



高齢者等用押ボタン箱



寸法 38(W)×54(H)×20(D)mm
質量 40g以下

ペンダント型小型発信器

1 バリアフリー対応型信号機とは

バリアフリー対応型信号機は、高齢者や視覚障害者が、安全に安心して横断歩道を渡れるようにする信号機です。

高齢者に対しては、安全に横断歩道を渡り終えるのに十分な時間を確保するため、青信号を通常より長くします。

視覚障害者に対しては、青時間を音で知らせたり、携帯する発信器から障害者を感知して歩行者用信号灯器を「青」に変えます。

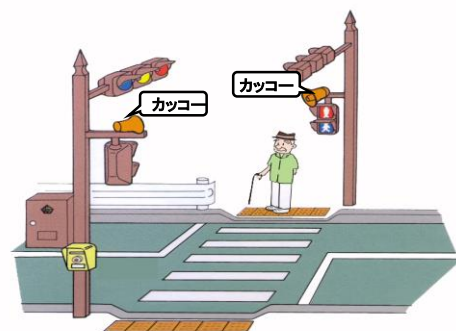
2 バリアフリー対応型信号機の主な種類

(1) 視覚障害者用信号機

目の不自由な横断歩行者に対して、メロディ（「通りゃんせ」「故郷の空」）または、鳥の鳴き声（「ピヨピヨ」「カッコー」）の音により青信号であることを知らせる信号機です。

佐賀県では、視覚障害者や県民の意見により、鳥の鳴き声（「ピヨピヨ」「カッコー」）を採用しています。

対面するスピーカーから同時に同じ擬音（鳥の鳴き声）を発する「同種同時吹鳴式」と、対面するスピーカーから時間差で擬音を発する「鳴き交わし式」があり、最近では、渡る方向がよりわかりやすいように「鳴き交わし式」を採用しています。

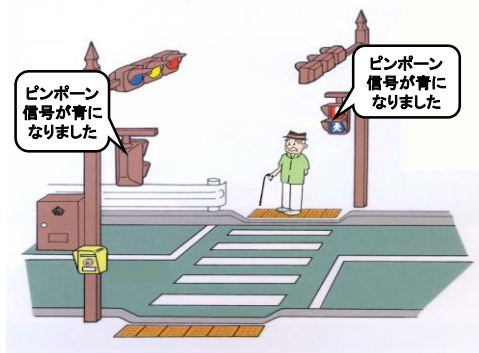


☆佐賀県内整備数 134基 （令和5年3月現在）

(2) 音響式歩行者用信号機

赤信号で横断を待っている歩行者に対して、青信号の始まりをチャイム音と音声（「ピンポーン、信号が青になりました」）により知らせる装置で、歩行者用交通信号灯器内に取り付けます。

☆佐賀県内整備数 14基 （令和5年3月現在）



(3) 高齢者等感応式信号機

交差点を利用する高齢者や足の不自由な歩行者等が横断歩道を、通常の歩行者よりもゆっくり歩いて横断できるようにした信号機です。

高齢者等用押しボタンを押すか、利用者が所持するペンダント型小型発信器のボタンを押すことにより、歩行者青信号の時間が通常より長くなります。

☆佐賀県内整備数 33基 （令和5年3月現在）

